

左近山中だより

平成 31 年 3 月 25 日
横浜市立左近山中学校
校長 福田 有志
No. 11

「旅立ちとともに」

校長 福田有志

3月11日に第47回卒業証書授与式を実施しました。御来賓として、たくさんの学校関係者や地域、PTAの皆様にお祝いいただきました。卒業生の新たな出発へ向けて、厳粛かつ心のこもった式となりましたことを本当に感謝申し上げます。

3年生が証書を受け取る姿勢も立派でしたが、1・2年生の卒業式にのぞむ姿勢や態度、合唱での歌声もたいへん立派でした。全校での一体感が感じられ、心のこもった卒業式になったことをたいへん嬉しく思いました。

3年生には、自分の将来の夢に向けて、着実により心身共に成長して、自立した社会人になってもらいたいと願っています。3年生の卒業後は、上級生としての自覚を持った2年生が新たな学校の顔として次年度立派にその役割を果たしていくことを期待しています。また、1年生には、一年間経験した中学校での生活を生かして、頼れる上級生として活躍していくことを期待しています。

先月、東京国立博物館へ行ってきました。五つの展示館の中の一つである平成館で行われた特別展を見に行きました。主な内容は、中国唐時代の書家である顔 真卿(がん しんけい、709年～785年)や他の書家たちの作品、そして、書体の移り変わりに関するものでした。この顔 真卿(がん しんけい)が、現在、私たちが使用している書体の一つの明朝体(みんちょうたい)のもとをつくりあげたとも言われています。



紀元前の秦(しん)の時代に統一書体として採用された篆書(てんしよ)から発展した書が現在の私たちの生活の中でも引き継がれ、使われていることに深い感慨を持ちました。篆書(てんしよ)、隸書(れいしよ)、草書(そうしよ)、行書(ぎょうしよ)、楷書(かいしよ)という順序でこれらの書体がそれぞれの時代に誕生して、移り変わってきました。一つの書体から、新たな書体が生み出されることに人間のエネルギーと創造性が感じられます。

私が特に感心したのは、同じ楷書でありながら、漢字一つを取ってみても、「柔らかさ」「美しさ」「力強さ」など、その書家の意思と筆づかいで印象が大きく変わってくることでした。時代や国を超えた書家たちの思いが、伝わってくるような気がしました。同時に、まだまだ新たに気づいていくことや学ぶべきことがたくさんあるのだと感じました。

4月から1年生と着任する教職員が加わり、新たなメンバーで新年度がスタートします。学校全体で様々な活動を通して、学び続けながら自分を高められるように新たな良き伝統を築いていきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様、本当に一年間ありがとうございました。今後とも左近山中学校の教育活動に御理解・御協力をよろしくお願いいたします。



3年生を送る会

卒業を控えた3年生のために、1・2年生が企画・運営する「3年生を送る会」。今回の会では、1・2年生から3年生に感謝の気持ちを込め、各学級からの一言メッセージと、昨年流行した曲「USA」に乗せて黒板アートとダンスのVTRを作成しました。VTRの練習と撮影は、昼休みや放課後、部活動の合間を利用して、2年生

が先頭に立ち、1年生を盛り上げて行いました。作成したVTRからは、3年生に対する熱い感謝の思いと、来年度は自分たちが左近山中学校を引っ張って行くという強い意志が感じられました。また、3年生がお世話になった先生方からのサプライズメッセージがVTRで流れました。お世話になった先生の登場に3年生からは喜

びと懐かしさの声が上がっていました。感謝の言葉では2年3組の生徒が、激励の言葉では3年3組の生徒が、それぞれ左近山中学校に対する熱い思いを読み上げました。校旗授与の時には3年生からの思いを後輩たちが受け取り、左近山中学校の時代が変わる瞬間を感じました。バトンを引き継ぐ後輩達も引き締まったとてもいい表情をしていました。

それぞれの道に進む3年生には、新しい環境でも感謝の気持ちを忘れずに、振り返れば支えてくれる人がたくさんいるということを心に留め、自分の道を切り開いて欲しいです。

(特活指導部 高橋美帆)



1・2年生合同球技大会

3月15日(金)に、1・2年生球技大会が行われました。グラウンドではドッジボール、体育館ではバレーボールを行いました。この日に向けて、2年生のキャプテンを中心に、昼休みに1年生と一緒に練習し、当日は、2年生がリーダーシップを発揮し、競技をしていました。この行事で作りに上げた先輩と後輩のより良い関係を継続し、左近山中学校をより活気ある学校にしたいと思います。

(特活指導部 高橋知希)



生徒 学校生活のアンケート結果(平成30年11月実施)

4 そう思う 3 やや思う 2 あまり思わない 1 思わない

注:「全体」は、「1年」、「2年」、「3年」、「5組」の合計で算出しています。

→「5組」は母数が少ないため、単独では表記していません。

No.	評価項目	4と3の合計				
		1年	2年	3年	全体	今年6月全体
1	学校生活は楽しい。	90%	88%	85%	87%	88%
2	目標を持って学校生活を送っている。	73%	80%	71%	74%	71%
3	あいさつや返事をしっかりとしている。	94%	95%	89%	92%	91%
4	しっかりとした服装・態度で生活している。	94%	94%	97%	95%	92%
5	自分の机・イス・ロッカーや、公共の物を大切に利用している。	92%	95%	95%	94%	95%
6	校内の美化に心がけ、ゴミの少量化や分別を意識して生活している。	88%	89%	88%	89%	86%
7	授業中しっかりと話を聞き、考えようとしている。	90%	89%	94%	92%	92%
8	授業以外で毎日勉強している。	62%	58%	67%	63%	58%
9	自分の学力は向上している。	60%	75%	79%	72%	70%
10	生徒会活動や委員会活動・学級の係活動はしっかりと取り組んでいる。	86%	87%	86%	86%	85%
11	学校行事や校外学習にしっかりと取り組めた。	98%	96%	94%	96%	96%
12	部活動にしっかりと取り組んでいる。 (部活動参加生徒のみで集計)	97%	95%	97%	96%	94%
13	学習室「学びのひろば」があると助かる。	58%	50%	40%	50%	45%
14	長期休業中に学習相談日があると助かる。	52%	44%	41%	47%	40%
15	先生方は相談に乗ってくれる。	88%	81%	66%	77%	75%
16	先生方はいじめなどのない楽しい学級づくりや学校づくりに努めてくれている。	88%	85%	65%	77%	79%
17	先生方はよい行いや努力したことを認めてくれる。	92%	82%	74%	82%	80%
101	私は、忘れ物(授業の道具、提出物や宿題)をしていません。	67%	79%	88%	79%	73%
102	私は、チャイムと同時に授業に入られるよう、心の準備をして授業に臨んでいます。	92%	86%	91%	89%	86%
103	私は、授業中に先生の話を中心して聴き、授業をまじめに受けています。	85%	87%	93%	89%	91%
104	私は、放課後に学びのひろばや家などで、予習や復習をしています。	52%	52%	68%	59%	56%
105	先生は、ていねいに、わかりやすく授業を進めています。	94%	92%	89%	91%	89%
106	副教材(ワークブック等)や先生が用意する教材、プリントは役立っています。	94%	94%	87%	91%	89%
107	毎時間の授業を通して、学習への興味や意欲が高まります。	86%	82%	80%	82%	81%
108	授業で複数の先生が教えてくれるのはわかりやすい。□年・2年:数学)	96%	85%		90%	81%
109	少人数での学習は、クラス全員での学習よりわかりやすい。 (2年・英語 / 3年・数学)		88%	85%	87%	85%

【生徒アンケートの結果について】

- 項目番号3,4,5は、昨年に引き続き全学年とも多くの生徒が「そう思う」または「やや思う」と回答しています。これらの数値の高さに表れている生徒の高い規範意識によって、落ち着いた雰囲気の左近山中学校がつけられていることがうかがえます。
- 学習に関する項目7,8,13,14は、改善傾向にあります。生徒の皆さんは徐々に、学習に必要な性に気付き、自ら机に向かう姿勢が定着しつつあるようすがうかがえます。
- 1学年は、17項目中11項目で他学年を上回っています。
- 3学年は、8項目で昨年12月(2学年と比較して)よりも10ポイント前後回復し、項目番号13から17までは、同20ポイント前後回復しました。
- 項目番号15,16,17は、2学年も昨年12月(1学年と比較して)よりも改善しています。
- 項目番号105については、1年生は教科それぞれ99%から72%までの間、2年生は97%から67%までの間、3年生は96%から63%までの間でした。
- 項目番号107については、1年生は教科それぞれ85%から70%までの間、2年生は85%から59%までの間、3年生は80%から45%までの間でした。
- 昨年度、比較的「そう思う」または「やや思う」と回答する生徒が少なかった教科については、すべての項目で回復(最大で18ポイント)し、改善傾向が見られます。
- 項目番号3,4,5,11,12は、ここ3年間、全学年ともほぼ毎回90%以上の生徒が「そう思う」または「やや思う」と回答しています。特に11については、この形式で集計を始めた平成24年度と比較して+8ポイント、12については+24ポイントにのぼります。これらの数値の恒常的な高さに表れている生徒の高い規範意識と特別活動への意欲によって、健全で落ち着きつつも活発な雰囲気の左近山中学校が維持されていることがうかがえます。
- 項目番号2,6,7,8,9,10,4の改善傾向は、今回も継続しています。「授業以外で毎日勉強(項目番号8が+5ポイント)」し、「学力の向上を実感(項目番号9が+2ポイント)」するという、中学生らしい、学習を柱とした中学校生活を送る生徒が増え続けていることがうかがえます。特に8は、この形式で集計を始めて以来初めて60%を超え、9は平成24年度と比較して+13ポイントとなっています。
- 項目番号105,106,107の改善傾向も継続しています。今後も教科授業と道徳の授業の進め方を個別に組織的に研修し、授業参観や研究授業の形でその成果を公開しつつ、不断の改善を進めてまいります。

保護者 学校評価アンケート結果(平成30年11月実施)

4 そう思う 3 やや思う 2 あまり思わない 1 思わない *わからない

注: 「*わからない」という回答の数を分母から除外して割合を算出しています。

取り組み分野	No.	評価項目	4と3の合計	
			今回	今年6月
教育課程 学習指導	1	学校は、学習時間の確保に努めています。	94%	93%
	2	学校は、朝読書や自習室「まなびの広場」の開設などで、基礎学力の定着に努めています。	85%	86%
	3	教員は、わかりやすい授業実践に努めています。	78%	76%
	4	少人数授業* (1年と3年の数学/2年の英語) や、T T* (1年の国語と数学/2年の数学) は、生徒の学力向上に効果的です。	88%	86%
	5	教員は、生徒の学力や努力を適切に評価しています。	88%	86%
進路指導	6	学校は、3年間を通して、学年に応じた進路学習を行っています。	92%	95%
	7	教員は、生徒が自分に適した進路を選択できるように指導しています。	80%	78%
生徒指導	8	教員は、生徒の規範意識の向上に努めています。	86%	87%
	9	学校は、保護者や地域と連携して生徒理解に努めています。	86%	87%
	10	生徒は、生徒会活動・委員会活動に意欲的に取り組んでいます。	94%	95%
	11	生徒は、学校行事や校外学習に意欲的に取り組んでいます。	96%	98%
保健管理	12	生徒は、自主的に健康管理に取り組んでいます。	83%	80%
	13	教員は、生徒の健康状態に配慮しています。	86%	89%
安全管理	14	学校は、災害や事故に適切に対応しています。	90%	90%
	15	学校は、侵入者対応などの防犯対策に取り組んでいます。	76%	78%
特別支援教育	16	学校は、個別支援学級と一般学級生徒の相互理解に努めています。	91%	88%
保護者 地域連携	17	学校は、「学校便り」等を通して学校の様子を積極的に発信しています。	93%	91%
	18	学校は、地域とのつながりを大切にし、地域活動(学校開放、自治会行事など)に協力しています。	94%	89%
教育環境整備	19	学校は、施設の維持・管理に努めています。	92%	89%
	20	教員と生徒は、清掃や美化活動に取り組んでいます。	91%	88%
その他	21	生徒は、部活動に熱心に取り組んでいます。	95%	93%
	22	生徒は、充実した中学校生活を送っています。	92%	93%

※少人数授業*: 学級を複数の集団に分けて行う授業形態

※T T*: 1つの集団を複数の教員で指導する授業形態

【保護者アンケートの結果について】

- 項目番号1,10,11,17,21,22で、昨年度に引き続き90%以上の方から肯定的な評価をいただきました。昨年度に引き続き肯定的評価が80%以下であったのは、項目番号3,12,15でした。これら3つは、過去6年間でも80%を超えることのほうが少ない評価項目です。
- 項目番号6,7,8では、1年→2年→3年の順で、「わからない」という回答が減り、さらに、項目番号6,7では、「そう思う」「ややそう思う」という回答が順に増えています。3年次において進路を自己決定させることを目標にした、1年次の職業講座、2年次の職場体験、3年次の上級学校調べと進路選択という3年間の本校の進路指導の流れと、規範意識の向上を目標とした生活指導についてのご理解が、学年を追うごとに進んでいるものと思われまます。
- わかりやすい授業(項目番号3)と適切な評価(同5)に対する期待に応える研修を進め、進路指導(同6,7)と道徳指導・生徒指導・特別活動への支援(同8,10,11,21)によって、すべての生徒の充実した学校生活(同22)の実現を目指してまいります。